

27年度の方向性

H26

- 教育委員会を中心とした推進体制の構築
- 学習到達目標の設定
- 小・中・高一貫したカリキュラムの作成



検証・改善・普及のためのモデル化を目指す

H27

- 18地域→36地域
- 次期学習指導要領改訂の検討にあたり、さらに多様な（自治体・学校規模、地域性等）実践データが必要
- 事業の成果を全国に普及させるための強化地域拠点の配置の拡充

今後のスケジュール（予定）

- 1 2月末以降 予算決定後、
実施要項等発出
- 1月末 公募締切
- 2月中 審査
- 3月初 採用件決定
- 3月末 委託契約締結

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業 270,502千円 (261,415千円)

今後5年間程度をかけ、①②の取組を中心に、小学校中核教員、中・高の英語教員の指導力向上を図る

①国が外部専門機関（外国の公的機関等）と連携して以下を対象とした新たな英語教育に対応した指導力向上事業を実施

- ・ 小学校の英語教育推進リーダー
- ・ 中・高等学校の英語教育推進リーダー

②都道府県・政令指定都市教育委員会が外部専門機関（外国の公的機関、大学等）と連携して指導力向上事業を実施

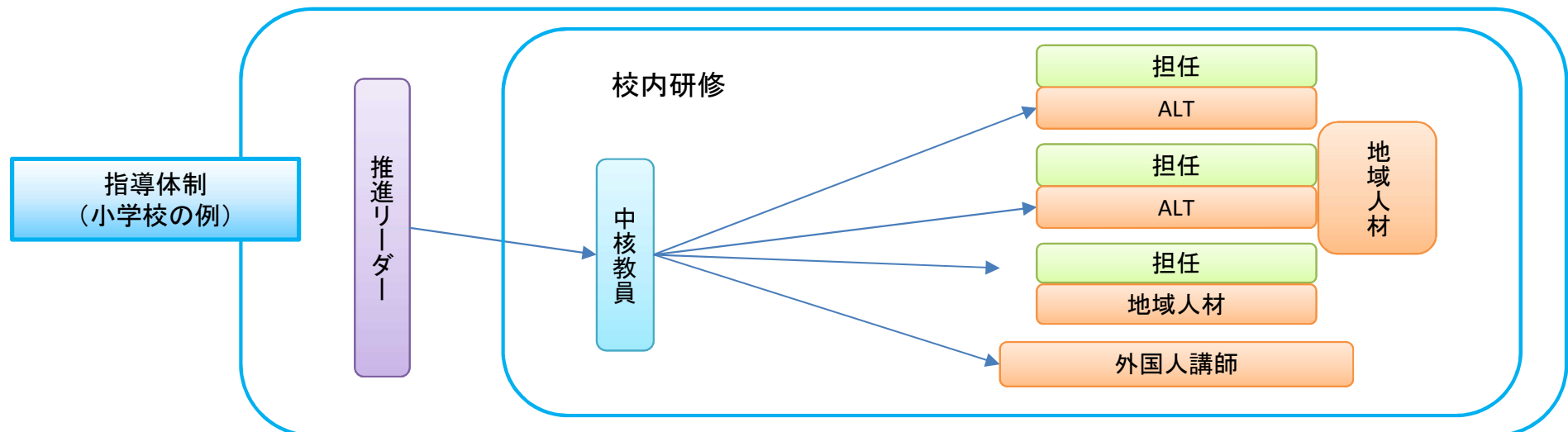
*アメリカ大使館、ブリティッシュ・カウンシル、アメリカ・カナダ等大学等

⇒域内の英語教育改善プランの策定、明確な目標設定及び目標管理のもと、

- ・ 国の指導力向上研修を修了した推進リーダーによる研修
- ・ 域内の学校・教育委員会と大学との連携による指導力向上のための取組 等を実施。

<推進リーダーの役割(例)>

- ①各地で中核となる小学校教員・中・高等学校の英語担当教員の研修
- ②研究会、研究授業等における講師、助言者
- ③授業・評価の改善のための日常的な指導・助言 等



外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

「英語教育推進リーダー研修」の枠組み

H26

事前課題

・授業をビデオ撮影し、分析

中央研修(1) 実践のための研修

(春～夏に実施)
・英語力テスト
・5日間の研修(自らの指導に活かす研修)

授業での実践

・研修成果を自らの授業で実践
・オンライン教材の活用
・中央研修への参加者相互の交流(オンラインサイト)
・授業をビデオ撮影し、分析

中央研修(2) 指導のための研修

(秋～冬に実施)
・5日間の研修(域内研修の準備に向けた研修)

地域の中核教員に対する研修

【中央研修の成果を、全国各地に確実に波及】
・中央研修の修了者が「中核教員」に研修
(各人が年7回の研修を担当し、研修記録を国に提出)
・国は、研修の状況を訪問調査で確認
・教育委員会と大学の連携を進め、研修を「免許法認定講習」「更新講習」の一部とする
・中央研修の修了者は、「中核教員」への研修を完遂した上で、「英語教育推進リーダー」として認証される

H27

「英語教育推進リーダー」として国が認証

研修の更なる充実

H28～

○ 研修修了者の指導力などを分析しながら、研修内容を改善する

27年度の方向性

英語教育推進リーダー中央研修

【留意点】

- 趣旨の周知・理解
...参加者本人、所属長、関係教育委員会
- 参加候補者の推薦に当たって
- 集合研修終了後の照会について
- 研修実習の計画・実施に当たって

27年度の方向性

英語教育推進リーダー中央研修

【英語教育推進リーダーに期待される役割】

- ①各地で中核となる小学校教員・中・高等学校の
英語担当 教員の研修
- ②研究会、研究授業等における講師、助言者
- ③授業・評価の改善のための指導・助言

今後のスケジュール（予定）

【中央研修】

- ・ 2月中 H27委託契約締結
- ・ 3月初 H27実施要項等送付、
参加者推薦依頼
- ・ 3月末 H26報告書提出
- ・ 4月中～ 学校種ごとに、順次参加
候補者シート等提出